

ホウセンクエスト HOSEN QUEST

太田市立宝泉中学校

学力向上通信 No. 4
(Lv. 15)

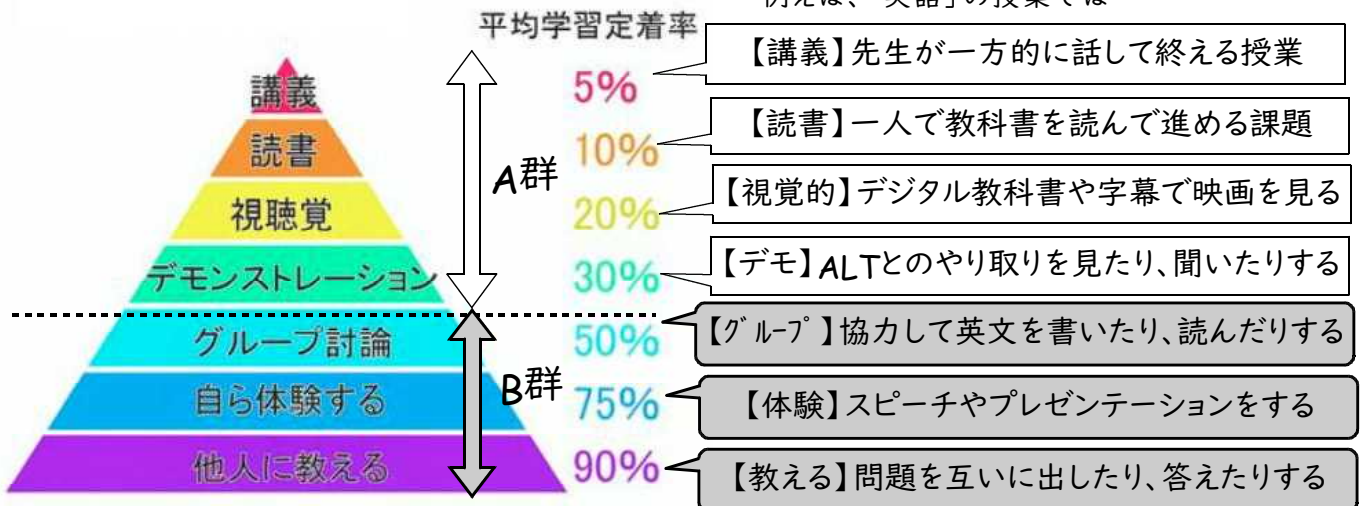
令和6年6月6日

ラーニングピラミッドとは・・・

アメリカ国立訓練研究所の研究によると、学習方法と平均学習定着率の関係は「ラーニングピラミッド」という図で表すことができます。

下の図によると講義のみの授業は、自分で読書するよりも学習定着力が低いようです。「主体的で対話的な学び」が学習定着率にも良い影響がありそうです。特に下の3段(アクティブラーニング)の学習方法の効率が高く、学びを「アウトプット」することが定着には大切になります。授業の中で、生徒自身がアウトプットする場面を創り出せると授業の質があがると考えられます。

例えば、「英語」の授業では・・・



【A群】 「受動的学習」=インプット型学習
(指導者等からの情報を学習者が一人で整理し、記録していく学習パターン)

<メリット>

- 学習者のペースで、課題に取り組むことができる。
- 知識や経験が少ない学習者にとって、アウトプットするための素地を培うことができる。

<デメリット>

- 反復学習等や内容整理にかかる時間が多く必要となる。
- 学習者本人の学習意欲を継続させることが大変である。

【B群】 「能動的学習」=アウトプット型学習
(学習者同士で、相互的、実践的な課題に取り組む学習パターン)

<メリット>

- 学習者にとって、学習定着率の高い学習方法である。
- インプット型学習で内容を活用し、課題に取り組むことができる。
- 実生活に学習内容を応用できる。

<デメリット>

- 複数人での学習環境の設定や課題の目的や場面設定の工夫が必要になる。
- インプット型学習での知識量が不足していたり、対人スキルの差が大きな影響が出ることがある。



- どの教科でも、「50分」の授業中に、様々な手立て(【講義】から【他人に教える】まで)を取り入れて展開しています。
- もちろん、学習定着率が高い手立てばかりを行うことは、できません。



- だからこそ、自分が「これなら頑張れる」「取り組んでみよう」と思える課題に対して、積極的に臨むことが大切になってきます。



図1から、実に衝撃的なことが分かります。

★1 暗記練習をして100%覚えたとしても

20分経過すると、約40%は忘れる。

★2 1日経過すると、約75%は忘れる。

★3 1ヶ月経過すると、約80%は忘れる。

どんなに賢い人でも、
一度覚えた後に何もしなければ、
「忘れてしまうのは、当たり前」
ということです。

図2を見ると、

復習をくり返すと、
忘れるスピードが徐々に緩やかになる！

復習をくり返すと、
元の状態に戻すのが楽になる！！

復習をくり返すと、
覚えている割合が非常に高くなる!!!

図1と図2を分析してみると・・・

**「早めの復習」が大切であり、
「定期的な復習」も効果的である。**